

郊外部補完公共交通と地域公共交通を分類するための判断基準（メルクマール）について

採算性からの検討（単純計算）

■各地域におけるフィーダー路線の諸元を以下のとおり設定

- ・運賃：200 円
- ・距離：約 2km
- ・運行頻度：往復 90 便/日運行（3 便/h：6:30～21:30 を想定）
 ※バス活性化基本計画において、郊外部補完バスのサービスレベルを 10～30 分ヘッドとしている
- ・運行経費のキロあたり単価：400 円/km

■路線の採算性概算

- ・経費：400 円/km×2km/便×90 便＝約 72 千円
- ・収入：200 円/人×●人/便×90 便
 ⇒ 採算確保ラインは ●＝約 4 人/便
 ∴約 360 人/路線（往復利用）⇒ 約 180 人（実利用人数）

■団地の利用者数概算

- ・団地におけるバス利用者数は、5 歳以上の外出率 80.8%、公共交通機関利用分担率 16%（ともに H20 広島市実態調査）から算出する。
 ⇒180 人の利用者数を確保するためには、団地における 5 歳以上人口が 1,392 人以上である必要がある。

